

事務事業名	予防接種事業（麻疹風疹・三混・日脳）				担当	健康福祉部 健康増進課 母子健康係		
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8121		
施策名	06	健康づくりと適切な医療の確保			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	予防接種法					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和23 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1. 保健衛生費	2. 予防費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	予防接種法による予防接種は市町村長が行うこととされており、予防接種の対象者は、予防接種を受けるよう努めなければならないとされている。三種混合、麻疹風しん及び日本脳炎については原則として、国の指導により集団接種から個別接種に移行した。本市の場合は、ワクチンも含めて個別接種で、医療機関に委託している。麻疹風しんは、1期（1歳）2期（小学校就学前の1年間にある者）4期（高校3年生）、三種混合及び日本脳炎は1期（3カ月以上90ヶ月未満）について、個別予防接種を行う。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
22年度実績 ・対象者に対する通知 ・乳幼児健診時(4カ月、9カ月、1歳6カ月、2歳、3歳、4歳)及び就学前にパンフレット及び口頭で動奨。 ・もおか広報に掲載、幼稚園・保育園の就学前児、高校3年生にパンフレットを配布 ・個別予防接種の実施(医療機関)後、予防接種台帳の入力。 23年度計画 平成22年度と同様		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
		ア	麻疹風しん(1期)接種者数	人	633	621	715	757	776
		イ	麻疹風しん(2期)接種者数	人	588	596	758	755	750
		ウ	麻疹風しん(4期)接種者数	人	0	436	641	684	617
		エ	三種混合接種者数	人	2551	2770	3077	3288	3130
		オ	日本脳炎接種者数	人	4	11	371	2363	2279
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
乳幼児 9歳、10歳の児童（第2期対象者） 高校3年生（麻疹風疹4期予防接種対象者）		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
		ア	麻疹風しん(1期)対象者数	人	684	680	734	764	784
		イ	麻疹風しん(2期)対象者数	人	708	680	791	789	781
		ウ	麻疹風しん(4期)対象者数	人	0	623	799	827	744
		エ	三種混合対象者数	人	2720	2604	2920	2972	2820
		オ	日本脳炎対象者数	人	-	-	2288	3219	3083
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
予防接種を受けることにより、感染症を予防する。		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
		ア	麻疹風しん(1期)予防接種率	%	92.5	91.3	97.4	99.1	99.5
		イ	麻疹風しん(2期)予防接種率	%	83.1	87.6	95.8	95.7	96.0
		ウ	麻疹風しん(4期)予防接種率	%	0	70.0	80.2	82.7	83.0
		エ	三種混合予防接種率	%	93.8	106.4	105.4	110.6	111.0
		オ	日本脳炎予防接種率	%	-	-	16.2	73.4	73.9
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか）		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
感染症の発生予防、まん延防止を図り、健康な状態で生涯を暮らしてもらおう。		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
		ア	予防接種を受けて健康な生活を送れた数(麻疹風しん)	人	1221	1653	2114	2196	2143
		イ	予防接種を受けて健康な生活を送れた数(三種混合)	人	2551	2770	3077	3288	3130
		ウ	予防接種を受けて健康な生活を送れた数(日本脳炎)	人	4	11	371	2363	2279
		エ							
		オ							
(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0		
		国庫支出金	千円	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
		一般財源	千円	25,449	30,793	39,640	56,584		
	事業費計(A)	千円	25,449	30,793	39,640	56,584			
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間	300	350	420	523		
		人件費計(B)	千円	1,257	1,462	1,704	2,232		
トータルコスト(A)+(B)		千円	26,706	32,255	41,344	58,816			

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	予防接種法に基づき、感染症の発生予防と蔓延防止を図るため、昭和23年から開始している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成20年度より5年間時限措置として、高校3年生の麻疹風疹混合が予防接種の定期接種となった。 日本脳炎は、平成17年の積極的な動奨の差し控えを解消するため、平成22年度は3歳児に対する2回接種に対して積極的接種動奨を行った。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 予防接種法に基づき実施しているため、感染症の発生予防は市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 予防接種法で市町村の業務となっている。また、市民の健康保持は市の役割である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 予防接種法に基づき実施しているため、対象・意図は適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 予防接種法に基づき実施しているため、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 予防接種法に基づく事務であり、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の予算で実施しているため、削減は難しい。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費で実施しているため、これ以上削減できない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 該当者全員を対象としているため、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							